

1 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==

2 トラック 1

3 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==

4

5 //音葉：

6 んっ…♥んっ…♥あっ…♥あんっ…♥

7 はっ…♥はっ…♥んっ…♥んあっ…♥

8

9 //鈴音：

10 あっ…やっとお目覚めですね…？♥

11 おはようございます…旦那様…♥

12 おやすみの所…申し訳ありません…♥

13 音葉が…どうしてもと言うので…♥

14

15 //鈴音：

16 ほら…音葉…！旦那様が起きましたよ…

17 いつまでも腰を振ってないで…ご挨拶は…？

18

19 //音葉：

20 んっ…♥んあっ…♥あっ…本当だ…♥

21 おはよう…旦那様…♥はっ…♥はっ…♥

22 んふっ…♥気持ち良さそうに寝ている所…ごめんね…♥あんっ…♥

23

24

1 //音葉：
2 んっ…♥つつい…旦那様の可愛い寝顔に…ムラムラしちゃって…♥
3 あはは…♥んっ…♥んあっ…♥あんっ…♥あんっ…♥んあっ…♥
4
5 //鈴音：
6 全く…音葉はいつも旦那様のお眠りを妨げて…
7
8 //音葉：
9 だったら…鈴音もする～…？♥
10 寝てても…んっ…♥旦那様のおチンポ…元気いっぱいだね…♥んっ…♥
11 ウチの好きなところに…♥んっ…♥
12 いっぱい…当たって…♥すごく気持ち…
13
14 //音葉：
15 あっ…♥んっ…♥あんっ…♥あっ…♥んっ…♥
16 あんっ…♥あんっ…♥あんっ…♥あっ…♥
17
18 //鈴音：
19 もう…音葉ったら…♥
20
21 //鈴音：
22 では私はまた後ほどに致しますね…♥ふふっ…♥
23
24

1 //鈴音：
2 さてと…ほら…音葉…
3 旦那様のお目覚めなのですから…いつものして差し上げないと…♥
4
5 //音葉：
6 ああ…そうだった…♥じゃあ…ちょっと寂しいけど…
7 一旦おまんこ終わりにするねえ…♥んっ…♥
8
9 //音葉：
10 ふふ…おまんこやめたのにい…♥
11 ウチの中で…旦那様のおチンポ…ビクビクってしてる…♥
12 もう…可愛いなあ…♥大丈夫だよ…♥
13
14 これから…ちゃ〜んと…おまんこで…ぎゅっぎゅっ…てして…♥
15 びゅるびゅる〜って…おチンポ…お射精まで導いてあげるからね…♥
16 じゃあ…旦那様…♥改めておはよう…♥ちゅっ…♥
17
18 //鈴音：
19 おはようございます…旦那様…♥ちゅっ…♥
20
21 //鈴音：
22 ちゅぱっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥んちゅっ…♥
23 ちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅぱっ…♥ちゅっ…♥
24

- 1 //音葉：
- 2 んちゅ…♥ほら…いつもの…んちゅっ…♥
- 3 お目覚めの…ちゅ～だよ…♥ちゅっ…♥ちゅぱっ…♥
- 4
- 5 //音葉：
- 6 ちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥
- 7 んちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅぱっ…♥
- 8
- 9 //鈴音：
- 10 んちゅっ…♥不思議そうなお顔をして…♥ちゅっ…♥
- 11 いつもしているではないですか…♥
- 12
- 13 //鈴音：
- 14 ちゅぱっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥
- 15 んちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅぱっ…♥ちゅっ…♥
- 16
- 17 //音葉：
- 18 んっ…♥ほら…旦那様…♥お口開けて…♥べろだしてえ…♥
- 19
- 20 //音葉：
- 21 んっ…♥ぢゅるるッ…♥んへ…♥
- 22 だんなしゃまのべろ…つかまへたあ…♥んぢゅるるッ…♥
- 23
- 24 んちゅッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥ちゅぱッ…♥

1
2 //鈴音：
3 あ〜…もうズルいわ…音葉…♥
4 私も…私も旦那様と、ねっとりちゅ〜がしたいのに…♥
5
6 //音葉：
7 んちゅるるッ…♥今日はウチが先…♥
8 ちゅるるッ…♥んちゅッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥
9 んちゅッ…♥ちゅるるッ…♥ちゅぱッ…♥
10 鈴音は…また今度してもらえばいいでしょお…♥
11
12 //音葉：
13 ちゅるるッ…♥んちゅッ…♥ちゅぞぞッ…♥
14 ちゅっ…♥ちゅッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥ちゅぱッ…♥
15
16 //鈴音：
17 もう…仕方ありませんね…♥
18 では私はお耳の方…失礼致しますね…♥
19
20 //鈴音：
21 んっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥
22 はむはむ…♥はむはむ…♥んっ…♥ちゅっ…♥んちゅっ…♥
23 旦那様の…お耳…♥んっ…♥とっても真っ赤で…可愛い…♥
24

1 //鈴音：
2 んっ…♥んちゅっ…♥はむはむ…♥はむはむ…♥
3 んっ…♥ちゅっ…♥んちゅっ…♥ちゅっ…♥
4
5 //音葉：
6 ちゅ〜〜…ぱっ…♥あっ…それはウチもやるう…♥
7
8 //音葉：
9 はむはむ…♥はむはむ…♥んちゅ…♥
10 ちゅぱっ…♥ちゅぱっ…♥はむはむ…♥んちゅっ…♥
11 旦那様…♥また…私のおまんこの中で…ビクビクって…震えてるう…♥
12 んちゅっ…♥
13
14 //音葉：
15 はむはむ…♥はむはむ…♥んちゅ…♥
16 ちゅぱっ…♥ちゅぱっ…♥はむはむ…♥んちゅっ…♥
17
18 //鈴音：
19 私達のお耳責めに…反応してしまいましたか…？♥
20 んちゅっ…♥ちゅぱっ…♥
21 旦那様…昔から…お耳がよわよわですよね…♥
22
23
24

1 //鈴音：
2 んっ…♥んちゅっ…♥はむはむ…♥はむはむ…♥
3 んっ…♥ちゅっ…♥んちゅっ…♥ちゅっ…♥
4
5 //音葉：
6 んちゅっ…♥ちゅっ…お耳の側で…こしょこしょするだけで…♥
7 身体…ビクビク…ビクビクって…させてえ…♥
8
9 //音葉：
10 はむはむ…♥はむはむ…♥んちゅ…♥
11 ちゅばっ…♥ちゅばっ…♥はむはむ…♥んちゅっ…♥
12
13 //鈴音：
14 本当…とても愛らしいです…♥ちゅっ…♥はむはむ…♥
15 んちゅッ…♥そろそろお射精しますか…？♥
16 びゅっびゅっ…って…♥んちゅっ…♥
17
18 旦那様のお金玉の中で…
19 ビチビチッ…ビチビチッ…って
20 元気い〜っぱいに…暴れまわってるお子種…♥
21 お金玉が軽くなるまで…音葉の中に…ぜ〜んぶ吐き出しますか…？♥
22
23
24

- 1 //鈴音：
- 2 ぢゅるるッ…♥ぢゅぞぞッ…♥んちゅッ…♥ぢゅるるッ…♥
- 3 ぢゅぞぞッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥ちゅぱッ…♥
- 4 ぢゅぞぞッ…♥れろれろ…♥
- 5 んちゅッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥
- 6
- 7 //音葉：
- 8 いいよ…♥出しちゃお…？♥お射精…♥お射精しちゃお…♥
- 9 ウチのおまんこに…ぎゅ〜〜〜って…抱きしめられたまま…♥
- 10 びゅるびゅる〜って…お射精しよ〜ねえ〜…♥
- 11 ウチのおまんこの奥に…ぶびゅびゅ〜〜〜って…出してえ…♥
- 12 ウチのおまんこも…待ってるよお…♥
- 13
- 14 旦那様の…真っ白い…ねばねばの子種汁…♥
- 15 おまんこの奥に…いっぱい塗りたくって欲しくて…♥
- 16 子宮口…くぱくぱさせながら…
- 17 早く食べたいよお〜…って待ちきれなくなってるのお…♥
- 18 うちのはらぺこおまんこに…早くちょうだい…♥ちょうだいよお…♥
- 19
- 20 //音葉：
- 21 ぢゅるるッ…♥ぢゅぞぞッ…♥んちゅッ…♥
- 22 ぢゅるるッ…♥ぢゅぞぞッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥
- 23 ちゅぱッ…♥ぢゅぞぞッ…♥れろれろ…♥
- 24 んちゅッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥

1
2 //鈴音：
3 ほら…旦那様…♥音葉もこうっておりますし…♥
4 お射精…♥お射精してあげて下さい…♥
5 お金玉の中で…凝り固まったお子種…
6 音葉の中に…ないないしちゃいましょうね…♥
7
8 お子種ないないですよ…ないない…♥んっ…♥
9 ほら…お子種…びゅ〜〜〜…して下さい…♥
10
11 //音葉：
12 出してえ…出してえ…出してえ…♥
13
14 //鈴音：
15 出して…出して…出して…♥
16
17 //音葉：
18 ほら…旦那様…びゅ〜〜〜ッ…♥
19
20 //鈴音：
21 ほら…旦那様…びゅ〜〜〜ッ…♥
22
23
24

1 //音葉：
2 あっ…♥んっ…♥ん〜〜〜ッ…♥
3 出てる出てる…♥旦那様の…出てる…♥
4 ドロドロ…ネバネバの…子種汁…♥んっ…♥あったかぁ…♥
5
6 //鈴音：
7 ふふ…♥音葉のおまんこですからぁ…
8 旦那様のお気の済むまで…子種汁出していいですからね…♥
9
10 //音葉：
11 ふふ…そうだよ〜お…♥気の済むまで…金玉の中身…
12 空っぽにしちゃうくらい出しちゃおうねえ〜…♥
13
14 //鈴音：
15 あん…♥空っぽは困ります…♥私の分も残して置いて頂かないとお…♥
16
17 //音葉：
18 だってさ…旦那様…♥全く…鈴音も欲しがりなんだから…♥
19 ん…旦那様…そろそろお射精終わった…？♥んっ…お疲れ様ぁ…♥
20 いっぱい出たね…♥ウチのお腹…すっごくポカポカするよ…♥んふ…♥
21
22 //鈴音：
23 それでは旦那様…お射精もお済になりましたし…
24 一旦お食事でもいかがでしょうか…♥

1
2 //音葉：
3 そうそう…♥旦那様…そろそろ起きると思って…
4 二人でご飯作ったんだあ…♥
5 いっぱい食べて…いっぱい気持ち良くなろうね…♥
6
7 //鈴音：
8 そうですよ…♥それに次は私の番なのですから…♥
9 しっかり英気を養って頂かないと…♥んふっ…♥
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24

1 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
2 トラック 2
3 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
4
5 //音葉：
6 ほ〜ら…旦那様ぁ…あ〜〜ん…♡
7 どう…？♡ウチが作った煮物美味しい…？♡
8
9 //鈴音：
10 旦那様、旦那様…♡こちらも…♡
11 私が作ったおにぎりも召し上がって下さい…♡
12
13 //音葉：
14 作ったって…それは握っただけでしょ〜…♡
15
16 //鈴音：
17 そんな事ないですよ…？♡
18 旦那様に対する…愛情をた〜っぷり包み込んだ…
19 私謹製のおにぎりですから…♡
20
21 ほら…旦那様…お口を開けて下さい…♡
22 はい…あ〜〜ん…♡
23 んっ…いかがでしょうか…？♡
24 お口に合いますでしょうか…？♡

1
2 //音葉：
3 美味しいって…♥良かったねえ～…鈴音…♥
4
5 //鈴音：
6 本当ですか…！ありがとうございます…！旦那様…♥
7 では、まだまだ私達が作ったものはありますから…
8 どうぞお召し上がり下さいね…♥
9
10 //音葉：
11 足りなかったり、作って欲しい物があったら…遠慮なく言ってねえ…♥
12 ウチらがすぐ作ってあげるからねえ…♥
13
14 //鈴音：
15 え…？もう大丈夫…？そんな…遠慮する事はありませんのに…♥
16
17 //音葉：
18 そっか…もうお腹いっぱいかぁ…
19 じゃあ…残った物は後でウチらで食べるとしてえ…
20
21 //鈴音：
22 では…旦那様…？♥今日は…どちらの料理がお口に合いましたか…？♥
23
24

1 //音葉：
2 ウチの…？それとも…鈴音の…？
3 ねえ…どっちが美味しかったぁ…？♥
4
5 //鈴音：
6 む〜…どちらも美味しかったとは…
7 お優しい旦那様ですから…そう仰るだろうと思いましたが…
8
9 //音葉：
10 うう〜…そうじゃないの〜…
11 ちゃんとどっちが美味しかったか聞きたいの〜…！
12 いつも鈴音と勝負してるんだからぁ〜…！
13
14 //鈴音：
15 では致し方ありません…
16 音葉…いつものやり方で決着を付けましょうか…♥
17
18 //音葉：
19 そうだねえ…♥
20 旦那様がそう言うなら…仕方ないよねえ〜…♥
21
22 //鈴音：
23 さっ…旦那様…身体を後ろに倒しますよ〜…
24

1 //音葉：
2 まあまあ…いいから…いいから…♥
3 はい…ごろんして…ごろん…♥
4
5 そう…そのまま…じっとしててねえ…♥
6
7 //鈴音：
8 では…少しお召し物を…下も失礼しますね…♥
9
10 んふ…いつ見ても…旦那様のおちんちん…愛おしいです…♥
11 それでは…早速失礼して…
12 ちゅっ…♥ちゅぱっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥
13
14 //鈴音：
15 んちゅっ…♥ちゅぱっ…♥ちゅっ…♥
16 ちゅっ…♥んちゅっ…♥ちゅ〜〜っ…♥んちゅっ…♥ちゅぱっ…♥
17
18 //音葉：
19 あっ…もう鈴音ったら…抜け駆けダメだよ…♥
20 勝負なんだから…公平にしないとぉ…♥
21
22 んちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥
23 ちゅぱっ…♥ちゅぱっ…♥んちゅっ…♥ちゅっ…ちゅっ…♥
24

1 //音葉：
2 え…？いきなり何をするのって…またまた…旦那様ったらぁ…♥
3
4 //音葉：
5 んちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥
6 ちゅぱっ…♥ちゅぱっ…♥んちゅっ…♥ちゅっ…ちゅっ…♥
7
8 //鈴音：
9 旦那様が…ちゅッ…♥お優しいお返事しかして下さらないので…♥
10 ちゅっ…♥むちゅっ…♥
11
12 そういう時は…いつもこっちでしょう…♥
13 ちゅっ…♥ちゅっ…♥ちゅぱっ♥
14
15 勝負が付かなかった時は…ちゅっ…♥
16 旦那様のおちんちんに…ご意見を聞く事にしてるじゃないですか…♥
17 もうお忘れですか…？♥ふふっ…♥
18
19 //鈴音：
20 んちゅっ…♥ちゅぱっ…♥ちゅっ…♥ちゅっ…♥
21 んちゅっ…♥ちゅ〜〜〜っ…♥んちゅっ…♥ちゅぱっ…♥
22
23
24

1 //音葉：
2 ウチらが…お口でご奉仕してえ…ちゅっ…♡むちゅっ…♡
3 どっちのお口が気持ち良かったかの勝負で…勝敗を決める…♡
4 今まで…何回もやってきたでしょお…？♡ちゅぱっ…♡ちゅっ…♡
5
6 //鈴音：
7 はぁ…それにしても…♡旦那様のおちんちんの匂い…♡
8 くんくん…♡くんくん…♡
9 ふぉ…♡いつ嗅いでも…堪りません…♡
10 ふすふす…♡すう〜〜…♡くんくん…♡
11
12 //鈴音：
13 くんくん…♡くんくん…♡ほぉ…♡
14 ふすふす…♡んっ…♡くんくん…♡くんくん…♡ふぅ…♡
15 すう〜〜ツ…♡ほぉ…♡んっ…♡
16 す〜〜〜う…♡はぁ〜〜〜っ…♡ふぅ…♡
17
18 //音葉：
19 確かに…♡くんくん…♡くんくん…♡んお…♡ほぉ…♡
20 ウチ…♡くんくん…♡この…オスクっさい匂い嗅ぐの大好き…♡
21 くんくん…♡ほおっ…♡んっ…♡くんくん…♡すんすんっ…♡
22 くんくん…♡す〜〜〜う…♡はぁ〜〜〜っ…♡
23
24

- 1 //音葉：
- 2 特に…♥ここ…♥おチンポの先っぽの…くびれた所…♥くんくん…♥
- 3 傘がぱっくり開いたここに…♥
- 4 鼻を押し当てて…♥くんくん…♥ってするとお…♥
- 5
- 6 旦那様のオスクっさい匂いが…♥ふぉ…♥
- 7 頭の中にいっぱい…♥おっ…♥くんくん…♥ほおっ…♥
- 8 こんにゃの…頭…おかしくなっちゃう…♥
- 9
- 10 //音葉：
- 11 くんくん…♥くんくん…♥ほお…♥ふすふす…♥
- 12 んっ…♥くんくん…♥くんくん…♥ふう…♥
- 13 すう〜〜ツ…♥ほお…♥んっ…♥す〜〜う…♥はぁ〜〜っ…♥ふう…♥
- 14
- 15 //鈴音：
- 16 音葉は…♥くんくん…♥先っぽが好きみたいです…♥
- 17 私はやはりここです…♥くんくん…♥
- 18 おちんちんの根元と…お金玉の間の…こ〜こお…♥
- 19 ほお…♥この濃い匂い…大好きっ…♥
- 20 くんくん…♥くんくん…♥ほおッ…♥
- 21
- 22 旦那様の…♥んっ…♥
- 23 強いオスの匂いが…ここにこびりついて…♥
- 24 ほおっ…♥たまりませんっ…♥

1
2 //鈴音：
3 それに…甘酸っぱい汗と…濃ゆいお精子の匂い…♥
4 ふすふす…♥ふぉ…♥くんくん…♥
5
6 色んなのが混ざってえ…♥堪りませんっ…♥くんくん…♥
7 すんすん…♥すんすん…♥ほおっ…♥んっ…♥くんくん…♥くんくん…♥
8
9 //音葉：
10 くんくん…♥ほおっ…♥くんくん…♥くんくん…♥
11 ふがっ…♥くさっ…♥おチンポ…くっさあ…♥
12 ふう…♥すんすん…♥すんすん…♥ふぉ…♥ふがふが…♥
13 くんくん…♥す〜〜〜ッ…♥
14
15 //鈴音：
16 すう〜〜〜♥はあ〜〜〜♥すう〜〜〜っ…♥
17 はあ〜〜〜っ…♥すう〜〜〜っ…はあ〜〜〜っ…♥
18 ふう〜〜〜ッ…♥すう〜〜〜っ…♥
19 ふう〜〜〜ッ…♥すう〜〜〜っ…♥はあ〜〜〜っ…♥
20
21 //鈴音：
22 って…こうやっていつまでも、
23 旦那様の匂いを嗅いでいたら…勝負がつきません…♥
24 そろそろ…お口でのご奉仕に戻らないと…♥ね、音葉…♥

1
2 //音葉：
3 そうだね…鈴音…♥
4 そろそろ決着付けないと…♥ふっふっ…♥
5 それじゃあ…今度はウチが金玉しゃぶってあげるねえ…♥
6
7 //鈴音：
8 では…私が先っぽの方を…ご奉仕致します…♥
9 最後には…どっちのお口が良かったか…
10 ちゃんと決めて下さいね…旦那様…♥
11
12 それでは…♥
13
14 //音葉：
15 頂きま〜す…♥
16
17 //鈴音：
18 頂きま〜す…♥
19
20 //音葉：
21 ぢゅるるッ…♥きゅ〜〜ぽんッ…♥ぷへッ…♥
22 きゅ〜〜〜ぽんッ…♥ぢゅぞぞッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
23 ぢゅるるッ…♥ぢゅぞぞッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
24 ぷへッ…♥んぢゅッ…♥れろれろ…♥んぢゅッ…♥

1
2 //鈴音：
3 あ〜む…ぢゅるるッ…♥ぢゅるる〜〜〜ッ…♥
4 きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
5 はむっ…♥ぢゅぞぞッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
6
7 //鈴音：
8 やっぱり…♥旦那様の…おちんちん美味しいです…♥
9 きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
10
11 特にこのくびれたところ…♥
12 お味がとっても濃くてたまりません…♥
13 ぢゅぞぞッ…♥ぢゅ〜〜〜ぽんッ…♥
14
15 本当に…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
16 旦那様のおちんちんは…♥ぢゅぞぞッ…♥
17 お味もピカイチです…♥
18
19 それに…♥
20 唇を…しっかり…段差に引っかけて…ぢゅるるッ…♥
21
22 思い切り…きゅ〜〜〜ぽんッ…♥って離すと…♥
23 おちんちん…ブルブルって…震えて…♥
24 ぢゅるるッ…♥とっても愛らしいです…♥

1
2 //鈴音：
3 ちゅぞぞッ…♥ちゅ〜〜〜ぽんッ…♥
4 れろれろ…♥んちゅッ…♥ちゅぞぞッ…♥ちゅ〜〜〜ぽんッ…♥
5
6 //音葉：
7 味なら…♥ちゅぞぞッ…♥ちゅるるッ…♥金玉も負けてないよお…♥
8 旦那様の…汗とおチンポの味が…とっても濃ゆくてえ…♥
9 とっても美味しいよお…♥んちゅッ…♥
10
11 ちゅるるッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
12 ちゅぞぞッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
13
14 それにい…♥お口の中で…金玉を…♥ちゅるるッ…♥
15 飴玉みたいに…転がすと…♥
16 ちゅぞぞッ…♥れろれろ…♥れろれろ…♥ごぼごぼって…♥
17 子種汁い〜っぱい作ってくれるの…好きい…♥
18
19 ちゅるるッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
20 はぁ…♥早く…この中にいっぱい溜まってる…♥んちゅッ…♥
21
22 子種汁…♥んちゅッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
23 ウちに食べさせてねえ…♥ちゅるるッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
24

- 1 //音葉：
- 2 ちゅぞぞッ…♥ちゅ〜〜〜ぽんッ…♥れろれろ…♥
- 3 んちゅッ…♥ちゅぞぞッ…♥ちゅ〜〜〜ぽんッ…♥
- 4
- 5 んちゅッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥ちゅぞぞッ…♥
- 6 ちゅ〜〜〜ぽんッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥
- 7
- 8 //鈴音：
- 9 あらあら…♥
- 10 私の先っぽ磨きと…音葉のお金玉しゃぶりで…
- 11 腰浮いてますね…旦那様…♥
- 12 ちゅるるッ…♥んちゅッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
- 13 ちゅるるッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
- 14
- 15 先っぽも…膨らんでえ…♥ちゅるるッ…♥
- 16 お射精が近いご様子…♥ちゅるるッ…♥
- 17 その証拠に…♥先ほどから…お味が変わりました…♥
- 18 んっ…♥ちゅるるッ…♥
- 19
- 20 先走り汁に…お子種が混じって濃厚なお味になってます…♥
- 21 ちゅるるッ…♥きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
- 22 ん〜…とっても美味しい…♥
- 23
- 24

1 //鈴音：
2 ちゅるるッ…♥ちゅぞぞッ…♥れろれろ…♥
3 んちゅるるッ…♥ちゅぞぞッ…♥ちゅ〜〜〜ぽんッ…♥
4 ちゅるるッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥
5
6 //音葉：
7 きゅ〜〜〜ぽんッ…♥
8 ああ…待ってえ…♥ウチも食べる〜…♥
9 あ〜ん…ちゅるるッ…♥ちゅぞぞッ…♥れろれろ…♥
10
11 れろれろ…♥んちゅッ…♥ちゅぞぞッ…♥
12
13 //鈴音：
14 ああ…もう音葉…！♥
15 半分こですよ…半分こ…♥はむ…ちゅるるッ…♥
16 ちゅぞぞッ…♥れろれろ…♥
17
18 ちゅるるッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥ちゅぞぞッ…♥
19
20 //音葉：
21 分かってるって…♥んちゅるるッ…♥
22 ん〜…ホントだ…♥ちゅぞぞッ…♥んちゅッ…♥ちゅるるッ…♥
23 とっても濃い味で…美味し…♥
24

1 //音葉：
2 んちゆるるッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥ちゅぞぞッ…♥
3
4 //鈴音：
5 そうでひょう…♥んふ…♥ちゆるるッ…♥
6 れろれろ…♥ちゅぞぞッ…♥んちゅッ…♥
7 では最後は…私達二人の舌を使った…亀頭磨きで…
8 たっぷりお子種をお出してくださいね…♥
9
10 ちゆるるッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥ちゅぞぞッ…♥
11
12 //音葉：
13 んふ…♥ちゆるるッ…♥ちゅぞぞッ…♥ちゅ〜〜〜ぽんッ…♥
14 気が済むまで…♥いっぱい出してねえ〜…旦那様…♥
15
16 //音葉：
17 れろれろッ♥れろれろッ♥べろべろッ♥
18 んちゆるるッ♥れろれろッ♥れろれろッ♥
19 んちゅッ♥ちゅ〜〜〜ッ♥ちゅぱッ♥
20
21 れろれろッ♥れろれろッ♥べろべろッ♥
22
23
24

- 1 //鈴音：
- 2 ぢゅるるッ♥べろべろッ♥べろべろッ♥
- 3 ぢゅぞぞッ♥べろべろッ♥べろべろッ♥
- 4
- 5 れろれろッ♥れろれろッ♥べろべろッ♥
- 6 べろべろッ♥ぢゅぞぞッ♥んぢゅッ♥ぢゅるるッ♥
- 7
- 8 いいですよ♥ぢゅるるッ♥好きな時に♥お射精下さいね♥
- 9 ぢゅるるッ♥んぢゅッ♥
- 10 私達の顔に♥お口の中に♥ぢゅぞぞッ♥
- 11 旦那様のお子種♥引っかけて頂いて構いませんから♥
- 12
- 13 ぢゅるるッ♥べろべろッ♥べろべろッ♥ぢゅぞぞッ♥
- 14
- 15 //音葉：
- 16 そうだよお♥
- 17 た〜っぷりッ♥びゅる〜〜〜ッ♥と気持ちいいお射精して♥
- 18 れろれろッ♥
- 19
- 20 遠慮しなくていいから♥いっぱい出してッ♥出してッ♥出してッ♥
- 21
- 22 //音葉：
- 23 んあッ♥はぁ…♥んあッ…♥ははっ…♥
- 24 旦那様…ホントにいっぱい出すね〜…♥んッ…♥ぢゅぞぞッ…♥

1
2 //音葉：
3 はあ…♥はあ…♥んッ♥んあッ♥はあ…♥
4
5 //鈴音：
6 んッ…♥ホントですッ…♥
7 先っぽばかり意地悪してしまったので…♥お金玉の中で…♥んッ…♥
8
9 お子種が煮詰まって…♥んッ…♥
10 少しダメになっていますね…♥んぢゆるるッ…♥れろれろ…♥
11
12 んぢゆるるッ…♥れろれろ…♥くちゃくちゃ…♥くちゃくちゃ…♥
13
14 //音葉：
15 んッ…♥ぢゆるるッ…♥でも…おかげで…♥
16 とっても…濃ゆくて…♥くちゃくちゃ…♥
17 噛み応えもあって…♥美味しい…♥くちゃくちゃ…♥
18 んッ…♥んッ…♥くちゃくちゃ…♥くちゃくちゃッ…♥ぢゆるるッ♥
19
20 //音葉：
21 ごっくんッ…♥
22 あゝ ～～～ッ…♥
23 旦那様…ご馳走様でしたあ…♥
24

- 1 //鈴音：
- 2 ごきゅッ…♥
- 3 あゝ ～～～ッ…♥
- 4 旦那様…ご馳走様でした…♥
- 5
- 6 //音葉：
- 7 はぁ…やっぱり旦那様のは…いつ食べても美味しい…♥
- 8
- 9 //鈴音：
- 10 そうですね…♥
- 11 私達もすっかりお腹いっぱいです…♥
- 12
- 13 //音葉：
- 14 で…旦那様ぁ…？♥
- 15 肝心の勝敗は…？♥
- 16
- 17 //鈴音：
- 18 音葉と…鈴音…どちらのお口ご奉仕が良かったですか…？♥
- 19
- 20 //音葉：
- 21 ほら…教えてよぉ…旦那様ぁ…♥
- 22
- 23 //鈴音：
- 24 ほら…教えて下さい…旦那様…♥

1 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
2 トラック3
3 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
4
5 //音葉：
6 あ〜、もう…♥やっと来たあ〜！♥遅いよ〜、旦那様あ〜♥
7
8 //鈴音：
9 中々いらっしゃらないので、
10 そろそろ探しに行こうかと思っておりました…♥
11
12 //音葉：
13 もう…♥そんなに前隠して…恥ずかしがっちゃってえ…♥
14
15 //鈴音：
16 さ、旦那様…こちらの椅子にお座りください…♥
17
18 //鈴音：
19 それでは…私が前を…♥
20
21 //音葉：
22 ウチが背中を流してあげるねえ〜…♥
23
24 じゃあ旦那様〜…お湯かけるね〜…よいしょ〜っと…

1
2 //鈴音：
3 お湯加減、いかがでしょうか…？
4 ぬるかったり…熱すぎたりしませんか…？
5 ちょうどいいですか…？
6
7 それは良かったです…♥
8 では、まずは石鹸で…身体を洗っていきますね～…♥
9 石鹸を手にとって…少し泡立ててから～…
10 まずは両手を洗いましょうね～…
11
12 それでは旦那様…お手を少々拝借致しますね…
13 しっかり…指と指を絡ませながら～…
14 こうやって～…ゴシゴシ…ゴシゴシと…♥
15
16 //音葉：
17 じゃあウチは、背中を洗うね～…
18 泡立てた石鹸を…おっぱいにいっぱいぬりぬりしてえ～…♥
19 んしょっと…んっ…♥
20
21 //音葉：
22 旦那様に…抱き着いて…身体をゴシゴシ…♥ゴシゴシっと～…♥
23 んっ…♥あっ…♥んあっ…♥あっ…♥んっ…♥んっ…♥んふっ…♥
24 ええ…？♥当たってる…？♥

1
2 //音葉：
3 違うよお…♥当ててるんだよお…？♥んふっ…♥当たり前でしょ…♥
4 ウチのおっぱいをしっかり意識してえ…♥
5 えっちな気分になって欲しいんだもん…♥
6
7 //音葉：
8 んっ…♥あっ…♥んあっ…♥あっ…♥
9 んっ…♥んっ…♥んふっ…♥あんっ…♥んっ…♥んあっ…♥
10
11 //鈴音：
12 音葉ったら…♥
13 ふふ…♥それにしても…旦那様のお手…やはり大きい…♥
14 ごつごつしてて…太く長い指…私、大好きです…♥
15
16 あっ…少し爪が長いですね…
17 こちらは後ほど爪切りで切って差し上げますね…ふふっ…♥
18 旦那様…次は胸元を…って…♥
19 あら…？♥いかがされました…？♥
20
21 //音葉：
22 あれ～…少し前かがみになって…どうかしたあ…？♥
23 もしかして…興奮しちゃったのかなあ…？♥
24 だったらあ…作戦成功だあ…♥

1
2 //鈴音：
3 んっ…確かに…おちんちんが…大きく上を向いてしまっていますね…♥
4 では…お身体を洗うのは一旦終わりにして…♥
5 旦那様…先にこちらを洗いましょうね…♥
6
7 //音葉：
8 さっき…ウチらがお口でお掃除をしたから…
9 汚れは残っていないと思うけどお…♥
10 やっぱり最後はしっかり石鹸で洗わないとねえ…♥
11
12 //鈴音：
13 ですね…♥では早速洗って行きますね…♥
14 まずは…こうして優しく手で包み込むように…触って…♥
15 にゆるにゆると…手を滑らせて…♥んっ…♥んっ…♥んっ…♥
16
17 //音葉：
18 じゃあ…うちは金玉の方を…洗ってあげるね…♥
19 んしょっと…♥
20 んふ…もうこんなに金玉膨らませてえ…♥旦那様のスケベ…♥
21
22 //鈴音：
23 先程…たっぱり私達にご馳走して下さったのに…♥
24 まだまだ…出し足りなかったりしますか…？♥ふふっ…♥

1
2 //音葉：
3 そうだよねぇ…♥まだ2回しか…射精してないもんねぇ…♥
4 大丈夫だよ…♥安心してえ…♥
5 旦那様の…この大きな金玉の中で…いっぱい作ってる子種汁…♥
6 ウチらが…ぜ～んぶ引っこ抜いてあげるからねえ…♥
7
8 //鈴音：
9 ええ…♥是非お任せください…♥
10 お風呂から上げりましたら…♥
11 次は…私が夜伽の相手を務めさせていただきます…♥
12
13 既にしっかりと膣を粘つかせ…温めております…♥
14 ですので…お布団に入ったら…すぐにでも…
15 私のおまんこ…お使い頂けます…♥
16
17 どうぞ…心ゆくまで私の身体で…
18 お楽しみ頂ければ幸いです…♥んふっ…♥
19
20 そうして…最後には…♥
21 私のいちばん奥に…お子種を…
22 びゅるるる～～～っと…コキ捨てて下さいね…♥
23
24

1 //音葉：
2 あは…金玉ビクってなったぁ…♥
3 鈴音のおまんこにお射精するの想像して…興奮してるぅ～…♥
4 旦那様のスケベ…♥
5
6 //鈴音：
7 あらら…♥
8 また一段とおちんちんをびくんッ…と跳ねさせて…
9 いかがされました…？♥
10
11 あぁ…そうでした…そうでした…♥
12 旦那様は…耳元で…スケベな言葉を囁かれるのがお好きでしたね……♥
13
14 //音葉：
15 そうそう…♥
16 ウチらさぁ…旦那様に喜んで貰えるように…
17 いっぱい勉強したんだよねえ…♥
18
19 //鈴音：
20 そうなんですよ…♥
21 少し…そういう読み物を見つけまして…二人でお勉強したんです…♥
22 せっかくですし…この時間は…私達の勉強の成果…
23 お聞かせ頂ければと思います…♥
24 それでは…参りますね…♥んっ…♥

1
2 //鈴音：
3 ねえ…旦那様…♥はぁ…♥はぁ…♥
4 早くこのなっがくて…逞しいスケベなマラ棒で…♥ふう…♥
5 私のおまんこに…食べさせてくださいませ…♥はぁ～…♥
6 このマラ棒で…私のスケベ穴の奥を…♥
7 ゴリゴリと…ほじって下くださいませ…♥
8
9 //音葉：
10 ウチも欲しいのお…♥ふう～…♥
11 このスケベマラで…ウチもいっぱい鳴かせて欲しいのお…♥
12 今度はウチの事…組み伏せて…♥んっ…♥
13 旦那様に思いっきり虐めて欲しいなぁ…♥
14
15 生意気おまんこ…
16 いっぱいパンパンッ…♥パンパンッって…♥舐けて…♥
17 ふう～…♥旦那様のおもちゃにしてよお…♥んっ…♥
18 好きな時に使える…便利なスケベ穴に舐け直してえ…♥
19
20 //鈴音：
21 と…言った具合なのですが…いかがでしょうか…？♥
22
23 //音葉：
24 さっきよりもおチンポ…♥ビクビクしてきた…♥

1
2 //鈴音：
3 お楽しみ頂けたみたいで…何よりです…♥ふっ…♥
4 それではそろそろ…お射精しましょうね…♥
5 それに…このままお身体が濡れたままでは…
6 お風邪を引いてしまいますので…♥
7
8 //音葉：
9 ちゃちゃっと…びゅるびゅる～って…
10 お射精して3人で仲良く湯船に浸かろうね…♥
11 ほら…旦那様…おてて早くするよ…♥
12
13 //音葉：
14 んっ…♥んあっ…♥あっ…♥
15 んっ…♥んっ…♥んあっ…♥はぁ…♥はぁ…♥
16
17 //鈴音：
18 ほ～ら…旦那様…♥お早く…かっこいいお射精…見せて下さい…♥
19 旦那様の…このスケベマラから…♥粘っこいお子種…♥
20 びゅるびゅる～って…ひり出して下さい…♥
21 ぷりぷりの金玉の中で…沢山ねりねりした…濃ゆいお子種…♥
22 私…また見たいです…♥
23
24

- 1 //鈴音：
- 2 んっ…♥んあっ…♥あっ…♥んっ…♥
- 3 んっ…♥んあっ…♥はあ…♥はあ…♥
- 4
- 5 //音葉：
- 6 ウチも見たいなあ…♥
- 7 旦那様が…金玉でねりねりした…濃ゆ〜い子種汁…♥
- 8 まるで…おうどんみたいに…
- 9 真っ白でぶっとい…一本繋がった子種汁…♥
- 10 このマラの先っぽから…びゅ〜〜〜ッ…ってひり出すとこみたいなあ…♥
- 11
- 12 そんなの出したらさ…♥
- 13 旦那様も…絶対気持ちいいでしょ…♥
- 14 だから…その気持ち良さそうな可愛い顔も見たいの…♥
- 15
- 16 //音葉：
- 17 んっ…♥んあっ…♥あっ…♥
- 18 んっ…♥んっ…♥んあっ…♥はあ…♥はあ…♥
- 19
- 20 //鈴音：
- 21 そうですね…♥旦那様が果てる瞬間…♥
- 22 気持ち良く…お子種をびゅるるる〜っと…
- 23 吐き出す瞬間の可愛い顔…♥
- 24 あれは何度見ても堪りません…♥

1
2 //鈴音：
3 んっ…♥んあっ…♥あっ…♥んっ…♥
4 んっ…♥んあっ…♥はぁ…♥はぁ…♥
5
6 //音葉：
7 見てるだけで…おまんこがジクジクして…♥
8 すっごい興奮しちゃうの…♥
9
10 あ〜…可愛いなぁ…♥カッコいいなぁ…♥
11 旦那様…好き…♥好き好き好き…♥だ〜い好き…♥
12 って…簡単におまんこ濡らしちゃうのお…♥
13
14 //鈴音：
15 だから早く…早くお見せて下さいませ…♥
16 旦那様の…スケベマラの…カッコいいお射精と…♥
17
18 //音葉：
19 旦那様の…気持ちよさそ〜な顔…♥
20 ウチらに…見せて…♥ほら…♥
21
22 //鈴音：
23 出して…♥
24

1 //音葉：
2 出してえ…♥
3
4 //鈴音：
5 出して…♥
6
7 //音葉：
8 出してえ…♥
9
10 //鈴音：
11 出して…♥
12
13 //音葉：
14 出してえ…♥
15
16 //鈴音：
17 出して…♥
18
19 //音葉：
20 出してえ…♥
21
22 //鈴音：
23 出して…♥
24

1 //音葉：
2 出してえ…♥
3
4 //鈴音：
5 まあ…いっぱい出てますね～…♥
6
7 //音葉：
8 ホントだぁ…♥
9 さっきお口に出した時よりも出てるんじゃない…？♥
10 ホント…スケベなんだからぁ…♥
11
12 //鈴音：
13 んっ…♥お射精…終わりましたか…？♥
14 気持ち良かったですか…？♥
15
16 //音葉：
17 それは良かった…♥
18 じゃあ…もう少しお身体を洗ってから…♥
19 一緒に湯船に浸каろうねぇ～…♥
20
21
22
23
24

1 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
2 トラック 4
3 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
4
5 //音葉：
6 ふふっ…♡旦那様…♡
7 早速…鈴音に襲われちゃったけどお…♡気持ちいいかな～…？♡
8
9 //鈴音：
10 んっ…♡あんっ…♡あんっ…♡
11 旦那様っ…♡旦那様っ…♡んっ…♡あんっ…♡
12
13 いかがですか…♡私の具合は…♡んっ…♡
14 音葉とはまた違って…♡気持ちいいでしょう…？♡んっ…♡
15
16 ほら…旦那様…♡私の気持ちいい所…♡
17 いっぱい突いて下さい…♡んっ…♡んあっ…♡あんっ…♡
18
19 以前、お教えしたじゃありませんか…♡
20 ねっ…？♡旦那様…♡んっ…♡あっ…♡
21
22 //鈴音：
23 んっ…♡あんっ…♡んっ…♡んあっ…♡
24 あんっ…♡んっ…♡あっ…♡んっ…♡あっ…♡あんっ…♡

1
2 //音葉：
3 あ〜…鈴音ダメだよ…♥
4 今の旦那様は…そんなの覚えてないんだよお…♥
5 それに教えたのだって…もう何回前の旦那様だっけ…？♥
6
7 //鈴音：
8 あぁ…そうでしたそうでした…♥
9 ついうっかり…♥
10 そうですね…♥今の旦那様は…私と床を共にするのも…♥んっ…♥
11
12 それどころかぁ…♥
13 ここまで行った事も…全て初めての出来事でしたよね…♥
14 もし困惑されていたのでしたら…お詫び申し上げます…♥んっ…♥
15
16 でもご安心下さい
17 お忘れなのであれば…私達との…楽しくて…幸せな日々の記憶を…思い出すお手伝い
18 をさせていただきます…♥
19
20 きっと思い出せば…♥んっ…♥
21 もっともっと…幸せになれますからね…♥あんっ…♥あっ…♥
22
23
24

1 //鈴音：
2 んっ…♡あんっ…♡んっ…♡んあっ…♡
3 あんっ…♡ふう…♡んっ…♡あっ…♡んっ…♡あっ…♡
4 ふう…♡んっ…♡ふう…♡あんっ…♡んっ…♡
5 んあっ…♡んっ…♡んっ…♡あんっ…♡あんっ…♡
6
7 //音葉：
8 そうだね…じゃあウチがお話してあげようかな…♡
9 ほら鈴音は…そのまま旦那様の上で…おまんこパンパンしてあげて…♡
10 ちゃ〜んと…気持ち良くなれる様に…してあげるんだよお…？♡
11
12 //鈴音：
13 んっ…♡分かりましたぁ…♡
14 ほら…旦那様…♡んっ…♡
15 しっかり音葉のお話を聞いておいてくださいねぇ…♡
16
17 んっ…♡あんっ…♡
18 あ〜…でもでも…お話に夢中になったらダメですよ…♡
19 ちゃ〜んとおちんちんは…おっきくしたままで…お願いします…♡
20
21 //鈴音：
22 それと…ですね…♡私、そろそろ我慢が…出来なくなってきました…♡
23 なので…少々…お下品な声が漏れると思いますが…♡ふう…♡
24

- 1 //鈴音：
- 2 お気を悪くされないで…おっ…♥下さいね…♥
- 3 んっ…♥んおっ…♥おっ…♥
- 4
- 5 おほっ…♥おっ…♥旦那様のおちんちん…キく…♥
- 6 おほっ…♥ほっ…♥ほおっ…♥おっ…♥
- 7
- 8 おっ…♥私の…弱いところに…ガツガツ当たって…♥
- 9 おっ…♥おんっ…♥んおッ…♥おっ…♥
- 10
- 11 //鈴音：
- 12 お～っ…♥ふう～…♥んお…♥お～っ…♥
- 13 んお～っ…♥お～っ…♥ほ～っ…♥ほお～っ…♥んお～っ…♥
- 14 ほお～…♥ふう～…♥お～っ…♥んお～っ…♥
- 15 ふう～…♥んお～っ…♥お～っ…♥ふう～…♥
- 16
- 17 //音葉：
- 18 あは…♥出た出た…♥
- 19 旦那様…鈴音、結構えぐい声で鳴くでしょ…？♥
- 20 旦那様とする時は…いつもこうなんだよ…？♥
- 21 でもさ…旦那様…これ大好きでしょ…？♥
- 22 こういう…♥
- 23
- 24

1 //音葉：
2 おっ…♥おっ…♥ほお～…♥ほっ…♥
3 おっ…♥んおっ…♥ほお…♥ほお～…♥
4
5 //音葉：
6 って声…♥
7
8 //鈴音：
9 そですよ…♥おっ…♥おほっ…♥
10 旦那様は…♥私達が…お耳元で…おほおほ…鳴くとお…♥おっ…♥
11
12 おっ…♥大変お喜びになれてえ…♥
13 おほっ…♥ほおっ…♥おっ…♥おおっ…♥ほお～～～っ…♥
14
15 おっ…♥おんっ…♥おっ…♥
16 おちんちんを…ビクつかせるんですっ…♥
17 おほっ…♥おっ…♥おほお～…♥
18
19 今だって…♥また一段と激しく…♥おっ…♥
20 中で暴れまわってえ…♥おっ…♥
21
22 おっ…♥おっ…♥おほっ…♥おっ…♥おんっ…♥ふ～～～ッ…♥
23
24

- 1 //鈴音：
- 2 お〜っ…♥ふう〜…♥んお…♥お〜っ…♥
- 3 んお〜っ…♥お〜っ…♥ほ〜っ…♥ほお〜っ…♥んお〜っ…♥
- 4 ほお〜…♥ふう〜…♥お〜っ…♥んお〜っ…♥
- 5 ふう〜…♥んお〜っ…♥お〜っ…♥ふう〜…♥
- 6
- 7 //音葉：
- 8 ふふっ…♥やっぱり…覚えていなくてもお…♥
- 9 身体はちゃ〜んと覚えてるねえ…♥
- 10 ふふ…ホントに気持ち良さそうにしちゃって…♥
- 11 ウチら…なんでも知ってるんだから…♥
- 12
- 13 だってね…旦那様はね…ず〜っと昔から…
- 14 ウチらと一緒にいるんだよ…♥
- 15 ずっとず〜っと昔から…もういつからだっただからかなあ…♥
- 16
- 17 何日…何年、何十年…ううん…♥
- 18 そういう数字では表せないくらい永い時間…
- 19 一緒に過ごしてきたんだあ…♥
- 20 ウチらは…それだけ固い絆で…愛で結ばれてるんだよお…♥
- 21
- 22 //鈴音：
- 23 そうです…♥おっ…♥それはそれは…強い愛で…
- 24 結ばれているんです…♥おっ…♥おほっ…♥

1
2 //鈴音：
3 なんびとたりとも…この愛を解く事は出来ないんです…♥
4 おっ…♥おほお…♥ほおっ…♥
5
6 だから…私達は…ずっと…ず〜っと…一緒なんです…♥
7 おほっ…♥おっ…♥んおっ…♥ほおっ…♥
8
9 //鈴音：
10 お〜っ…♥ふう〜…♥んお…♥お〜っ…♥
11 んお〜っ…♥お〜っ…♥ほ〜っ…♥ほお〜っ…♥んお〜っ…♥
12 ほお〜…♥ふう〜…♥お〜っ…♥
13 んお〜っ…♥ふう〜…♥んお〜っ…♥お〜っ…♥ふう〜…♥
14
15 //音葉：
16 鈴音の言う通り…♥ウチらはずっと…一緒…♥
17 おはようしたら…旦那様とえっちして…
18 それから…ウチらが作ったご飯を食べて…♥
19
20 一緒にお風呂に入って…上がったら…お布団でえっちして…
21 目が覚めたらまた…えっち…♥
22 毎日毎日…その繰り返し…♥
23
24

1 //音葉：
2 旦那様と…♥愛し合うのが…ウチらの生きる意味なの…♥
3 私達が…旦那様にそこまでの理由…？♥
4 そんなのさっきから言ってるでしょうお…♥
5 それが…生きる意味なの…♥
6 存在する理由なのお…♥
7
8 旦那様も…ウチも…鈴音も…
9 み〜んなで気持ち良くなって…幸せに暮らす…♥
10 それでいいじゃん…♥
11
12 他に何が必要だっていうのお…？♥
13 永遠に気持ちいい事だけして…生きていればいいでしょう…？♥
14
15 //鈴音：
16 帰る…？♥どこに帰るというのですか…？♥んっ…♥
17 旦那様の帰る場所は…ここです…♥ふう…♥
18 他のどこでも…ありませんよ…♥おっ…♥
19
20 あら…♥あらあら…♥
21 そんな…怯えたお顔なさないで下さい…♥んお…♥
22 怖がる事なんてないでしょうに…♥んあっ…♥ふうっ…♥
23
24

1 //音葉：
2 もう～鈴音…ダメだよ～…♥
3 旦那様、怖がらせたらあ～…♥
4
5 //鈴音：
6 そんなつもりは…♥
7 でも少々怯えさせてしまったかもしれませんね…♥おっ…♥
8 でしたら…一先ずお射精して頂きましょう…♥
9 そうすれば…♥おっ…♥少しは落ち着いて頂けるでしょうし…♥
10 おっ…♥おほっ…♥
11 私もそろそろ…旦那様のお子種…欲しいですから…♥
12 んっ…♥んあっ…♥
13 ここからは…♥手加減の無しの…本気のお交尾ですよ…♥
14 お覚悟下さいねえ…♥旦那様…♥行きますよお～～～…♥ん” ツ…♥
15
16 //鈴音：
17 おんッ♥おんッ♥んおッ♥ほおッ♥おん” ツ♥んあ” ツ♥はッ♥はッ♥
18 んお” ツ♥お” ツ♥んお” ツ♥おッ♥おん” ツ♥お” ～ッ♥
19
20 //音葉：
21 あ～…始まっちゃったあ…♥鈴音の本気交尾…♥
22 しっかり腰を浮かせて…♥どちゅ…どちゅ…って…♥
23 大きなお尻を…旦那様に打ち付ける…本気の交尾…♥
24

1 //音葉：
2 旦那様があんな可愛い顔するからあ…♥
3 火が着いちゃったねえ…♥ふっ…♥
4 次からは…簡単に怯えた顔なんてしちゃダメだよ…♥
5
6 //鈴音：
7 そうですね♥旦那様♥
8 私の前で♥あんな顔されたら♥つい食べちゃいたくなるんですから♥
9
10 //鈴音：
11 おんッ♥おんッ♥んおッ♥ほおッ♥おん” ッ♥んあ” ッ♥はッ♥はッ♥
12 んお” ッ♥お” ッ♥んお” ッ♥おッ♥おん” ッ♥お” ～ッ
13
14 //音葉：
15 だってさあ…♥くすくす…♥
16 次からはあ…ちゃ〜んと覚えておこうね…旦那様あ…♥
17
18 まあ…別に覚えなくてもいいかあ…♥
19 くすくす…♥旦那様が何度忘れてもお…♥
20
21 その時はウチと…鈴音があ…♥
22 旦那様の身体で…おチンポで…金玉で…♥
23 思い出せる様に…お手伝いしてあげるからねえ…♥んふっ…♥
24

1 //鈴音：
2 それとも…今後二度と…お忘れにならない様に…♥
3 今ここで…おちんちんに…しっかりと…♥
4 私とのお交尾の記憶を…刻み付けてしまいませんか…？♥ふっふっ…♥
5
6 //音葉：
7 ダメだよお…♥そんな事したら…さっきの怯えた可愛い顔…♥
8 鈴音が…こわいこわいって…なってえ…♥
9 見せてくれなくなっちゃうでしょお…？♥
10
11 //鈴音：
12 そうでした…♥確かに…音葉の言う通り…♥
13 楽しみの一つをみすみす奪う事はしない方がいいですね…♥
14
15 //鈴音：
16 ぬお” ツ♥お” ツ♥お” ～ツ♥
17 おん” ツ♥おん” ツ♥ぬお” ツ♥お” ツ♥おほツ♥
18 ぬほお” ツ♥んお” ツ♥おん” ツ♥
19 おん” ツ♥お” ツ♥ぬお” ツ♥お” ツ♥
20
21 //音葉：
22 あ～…ホントに鈴音…怖いね～…♥
23 こういう大人しそうな女の子が…豹変するのが一番怖いね～…♥
24

1 //音葉：
2 ねえ…旦那様…♥
3 こうやって…女の子に…組み敷かれて犯されちゃうの…
4 嫌じゃない…？♥大丈夫…？♥
5
6 //鈴音：
7 そ、そんな事ないですよ…♥だってこんなに…♥私の中で…♥
8
9 おちんちんバッキバキに固くして…♥ぬお”ッ…♥
10 そこキくッ…♥ふうッ…♥
11
12 こんなに…♥お喜びになっていらっしゃるんですから…♥
13 ねっ…♥そうですね…♥
14 私とのお交尾…大好きですもんね…♥
15
16 大丈夫ですよ…♥お”ッ…♥
17 旦那様のお気持ち…しっかり伝わってますからね…ッ♥
18
19 //音葉：
20 あはは…鈴音ったら…♥必死すぎだよお…♥
21 また旦那様…怖がっちゃうよお…？♥
22
23
24

- 1 //鈴音：
- 2 だって…だってえ…♥旦那様とのお交尾…♥
- 3 私…大好きなんですものお…♥
- 4 旦那様に犯してもらう時と…旦那様を犯す時が…♥
- 5 一番幸せなんです…♥
- 6 これさえあれば…♥旦那様さえいれば…
- 7 他に何も…何もいらなくらい…♥
- 8
- 9 //鈴音：
- 10 ぬおゝ ッ♥おゝ ッ♥おゝ ～ッ♥
- 11 おんゝ ッ♥おんゝ ッ♥ぬおゝ ッ♥おゝ ッ♥おほッ♥
- 12 ぬほおゝ ッ♥んおゝ ッ♥おんゝ ッ♥
- 13 おんゝ ッ♥おゝ ッ♥ぬおゝ ッ♥おゝ ッ♥
- 14
- 15 //音葉：
- 16 だってさ…♥
- 17 良かったねえ～…♥
- 18
- 19 こんなに愛してもらえるんだからさ…♥
- 20 旦那様も嬉しいでしょ…？♥幸せでしょ…？♥
- 21 だからさ…♥そろそろ旦那様も一発お射精しとこうよ…♥
- 22 鈴音も喜びよお～…？♥ふいっ…♥
- 23
- 24

- 1 //音葉：
2 ほらほら…小難しい事考えないでさ…
3 気持ちいい事で…頭の中…真っ白にしちゃお…♥
4
5 そしたら…帰るとか…怖いとか…そんな気持ち…
6 全部吹き飛んじゃうんだから…♥
7
8 ほら…お射精しよ…♥
9 金玉の中で煮詰まった子種汁…鈴音の中に…ぶちまけちゃお…♥
10
11 //音葉：
12 んちゅッ…♥ちゅぱッ…♥んちゅッ…♥
13 れろれろ…♥んちゅッ…♥ちゅッ…♥れろれろ…♥んちゅッ…♥
14
15 //鈴音：
16 おゝ ～…♥出して…♥出して…♥出してください…♥
17 旦那様のお子種…♥奥に…♥奥にいっぱい出して…♥
18 粘ついた…真っ白お子種…♥いっぱい出して…♥
19
20 お子種が取れない様に…♥お腹の奥に…♥
21 びちゃびちゃって…いっぱい引っかけて…♥
22
23 //音葉：
24 ほらほら…出したげてえ…♥

1
2 //鈴音：
3 出せ出せ出せ…♥出せッ…！♥
4
5 //鈴音：
6 ぬお`ッ♥お` ~~~ッ…キタキタキタッ…♥
7 旦那様のお子種ッ…♥ぬほッ…♥ほお` ~~~ッ…♥
8
9 奥に…びゅるびゅる～って…♥ほお…♥
10 子宮に…直接…♥ほお`ッ…♥おん`ッ…♥ほお`ッ…♥
11
12 //鈴音：
13 ふう~~~~ッ…♥ふう~~~~ッ…♥ほお…♥ほお~~~~ッ…♥ふう…♥
14
15 //音葉：
16 旦那様…♥お射精お疲れ様…♥
17 ほら…見て…♥
18 鈴音も…大満足みたいで…すごい息荒くしちゃってるでしょ…♥
19
20 旦那様も…鈴音も…いっぱい気持ち良くなれたみたいで…♥
21 ウチも嬉しいな…♥んふっ…♥ふふっ…♥
22
23
24

1 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
2 トラック5
3 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
4
5 //音葉：
6 あ〜…でもちょっと妬いちゃうなあ…♥
7 ねえ…鈴音…♥
8 ウチも旦那様の事、犯したい…♥
9 ねえねえ…早く変わってよお…♥
10
11 //鈴音：
12 わ、分かってますから…♥少し待ちなさい…♥
13 さっきから…ずっとイってしまっ…♥
14
15 少し腰を引いて…おちんちんを抜こうとすると…♥
16 ほおッ…あっ…♥また気持ちいいところに…
17 旦那様のおちんちんが…引っ掛かって…♥
18
19 //音葉：
20 鈴音の雑魚おまんこの事は分かったから、早く変わって…！
21
22 //鈴音：
23 あっ…ちょっと腕を引っ張らないで…ま、待っ…んひッ…！♥
24

1 //鈴音：
2 お〃 ～～～ツ…♥イク〃 ツ…♥んひツ…♥
3 ぽい～～～ツ…♥ぽい～～～ツ…♥ぽいお〃 ツ…♥お〃 ～～～ツ…♥
4
5 //鈴音：
6 ぽう～～～ツ…♥ぽい～～～ツ…♥音葉…！♥
7 はぁ…♥はぁ…♥無理やり…旦那様のおちんちん抜けたから…
8 またイってしまったじゃない…！♥
9
10 //音葉：
11 だってえ～…！独り占めしてる鈴音が悪いんでしょ～…！もう…！
12
13 //音葉：
14 さあてと…次はウチの番だよ…旦那様～…
15
16 //鈴音：
17 あらら…？どこへ行かれるのですか…？♥
18
19 //音葉：
20 あ～…もしかして今…逃げようとした…？♥
21 ダメだよお…♥
22 旦那様…逃げちゃダメえ…♥
23
24

1 //音葉：
2 えへへ、つ〜かまえた…♥
3
4 //鈴音：
5 はい…♥捕まえましたよ…旦那様…♥
6 帰る…？♥またですか…？♥
7 先程も…申しましたが…
8 旦那様の帰る場所は…ここです…♥
9 もっとも…正確には…ここから出て行く事が出来ないのですが…♥
10
11 //音葉：
12 そうだよお…♥
13 ここから…旦那様も…ウチらも…出られない…♥
14 だって…ここで永遠に暮らすんだからね…♥
15
16 //音葉：
17 ああ…もうそんなに暴れてえ…♥
18 仕方ないなあ…♥
19 鈴音…あれ…見せちゃおっか…♥
20
21 //鈴音：
22 そうですね…
23 この手はあまり使いたくなかったのですが…致し方ありませんね…♥
24

1 //音葉：
2 んゝ ～～～ッ…
3
4 //鈴音：
5 ぐう～～～ッ…
6
7 //鈴音：
8 ふう…！
9 変化は、解く時が一番大変ですね…
10
11 //音葉：
12 ホントだよね～…
13 あっ、鈴音、お耳が曲がっちゃってるよ…？
14
15 //鈴音：
16 あら…これはいけませんね…よいしょっと
17 まあ…音葉ったら…♥自慢の尻尾がボサボサですよ…？
18
19 //音葉：
20 あぁ…ホントだ…
21 狐に戻る時は…いつもこうだから…やになっちゃうなあ…もう…
22
23
24

1 //鈴音：
2 んっ…？あら…どうされました…？♥
3 その様な可愛い…こほん…怯えた様な顔をされて…♥
4
5 //音葉：
6 ウチらの本当の姿を見て…腰が抜けちゃったかな…♥
7 ほらほら…大丈夫だよお…♥
8
9 //鈴音：
10 大丈夫ですよ…♥
11 旦那様を取って食べたりなど、致しませんよ…♥
12
13 //鈴音：
14 それにほら…こうして…尻尾を首元と…
15 お腰に巻き付けちゃいましたから…もう逃げられませんよ…♥
16
17 //鈴音：
18 それに旦那様がいけないのですよ…♥
19
20 //音葉：
21 そうだよ…♥逃げようとするから…♥
22 ウチらから…離れようとするからあ…♥んふ…♥
23
24 さてと…それじゃあそろそろアレやっちゃおっか…♥

1
2 //鈴音：
3 そうですね…♥
4 大変心苦しいのですが…逃げ出そうとした旦那様には…
5 少しばかりお仕置きを致します…♥
6
7 //音葉：
8 あぁ…大丈夫…♥そんなに震えないで…♥
9 痛い事じゃないよ…♥
10 むしろ気持ちいい事だから…♥
11 それにね…これは大切な事なんだよ…？♥
12
13 //鈴音：
14 私達の事を…より深く知ってもらう為に…♥
15 ほんの少し…ほんのちょっぴりだけ…頭の中をほじほじして…♥
16 奥深くに眠った旦那様の記憶を呼び起こします…♥
17
18 //音葉：
19 でもどうやって…？って考えてるでしょお…？♥
20 それはね…こうやって…旦那様のお耳にね…
21
22 //音葉：
23 んゝ ～～～ッ…♥
24

1 //鈴音：
2 んゝ ～～～ッ…♥
3
4 //音葉：
5 こうやって…お耳から…旦那様の頭の中に…
6 私達の長～い舌を…滑り込ませるの…♥
7
8 //鈴音：
9 いかがですか…？♥
10 頭の裏側を…舌でほじほじされる感触は…♥
11
12 //音葉：
13 ちょっとくすぐったいかな…？♥
14 でも痛くなんかないでしょ…？♥
15
16 //鈴音：
17 私達の唾液には…ちょっとした麻酔効果があってですね…♥
18 お耳の奥にある…鼓膜が破れようが…大事な頭の中をほじろうが…♥
19 旦那様には…痛みを感じさせない様にしているんです…♥
20
21 //音葉：
22 じゃあ、なんで舌を突っ込んでるウチらの声が…
23 ハッキリ聞こえるのか…不思議に思ってるでしょ…？♥
24

1 //鈴音：
2 舌を突っ込んだままでは…まともにお話が出来ませんからね…♥
3 今は頭の中に直接語り掛けてるといった感じです…♥
4
5 //音葉：
6 どう…？慣れたら、気持ちいいでしょ…？♥
7 それに頭の中を…ウチらの長〜い舌で…ほじほじされながら…♥
8
9 //鈴音：
10 ぼわ〜…って…私達の声が響く…♥
11 直接、脳髓が揺さぶられて…頭の中を…ゾクゾク…ゾクゾクって…♥
12 甘〜い快樂が駆け巡っていくでしょう…♥
13
14 //音葉：
15 あっ…♥旦那様…身体がビクビクって震えてるう…♥
16 んふ…ホント可愛いんだから…♥
17
18 //鈴音：
19 ほら…そろそろ思い出して来ませんか…？
20 私達の事…いや…
21
22
23
24

1 //一穂：
2 妾と出会ったあの日の事を…♥
3 久しぶりじゃな…お前様…♥
4 こうして会うのは…いつ振りじゃろうか…♥
5
6 あ〜…お前様…さては…妾の事を忘れておるな…？♥
7 まあ…久しく会っていなかったのじゃから…無理もないか…♥
8
9 であればじゃ…♥
10 妾が…直々に思い出させてやるぞ…♥
11 愛しいお前様の狐の事をな…♥ふふっ…♥
12
13 では…まずは妾の名前じゃな…♥
14 お前様が妾に名付けてくれた名じゃ…♥
15 ちょっとは思い出したりしてないか…？♥
16 う〜ん…もう少し…右の裏をほじった方が良いかの…♥
17
18 くちゅくちゅ…くちゅくちゅと…優しく優しく…♥
19 ん〜…ダメかあ…♥では…しっかりと覚えておくのじゃぞ…♥
20
21 妾の名前は…一穂じゃ…い・ち・ほ…♥
22 愛しい愛しい…お前様の狐の名じゃ…♥
23 しかと覚えておくように…♥
24

- 1 では次じゃな…♥
- 2 妾の姿は…思い出せるかの…?♥
- 3 なんと…それも思い出せんか…♥
- 4
- 5 では次は…左側を少し強めに…くちゅくちゅッ…っと…♥
- 6
- 7 ん〜…どうかの…?♥
- 8 これもダメかぁ…♥
- 9
- 10 では…しっかりと覚えておくのじゃぞ…♥
- 11 まず…妾の髪の色は…黄金色じゃ…
- 12 ちょうど秋に田に実る稲の様に…光り輝く黄金色…
- 13
- 14 この長さは…腰まであってじゃな…
- 15 お前様はよく…妾のこの長い髪を美しいと…言ってくれたんじゃぞ…♥
- 16
- 17 時には…手に取って撫でてみたり…顔を近づけて嗅いだりと…♥
- 18 それはもう…虜になっておったのじゃ…♥
- 19
- 20 湯浴みから出れば…櫛を使って…
- 21 丁寧に妾の髪を梳いてくれたんじゃ…♥
- 22 その後は…丁寧に髪を結って…妾の手を引いて…床へ入って…♥
- 23
- 24 するとじゃな…♥

- 1 お前様は…妾を抱き寄せるんじゃ…♥
- 2 そうして…妾の真っ赤に輝く瞳をじっと見つめながら…♥
- 3
- 4 頭に携えるピンッ…と立った妾の耳に…
- 5 毎晩毎晩…愛を囁いてくれたんじゃ…♥
- 6 一穗…愛してる…♥ずっとずっと…一緒だよ…などとな…♥
- 7
- 8 しまいには…妾の腰に手を回し…
- 9 携える三振りの尻尾を優しく撫でながらじゃ…♥
- 10
- 11 妾はずっと覚えておる…♥
- 12 片時も忘れた事はない…♥
- 13 お前様に言われた…愛の言の葉…♥
- 14 一言一句…覚えておるのじゃ…♥
- 15
- 16 妾にそうやって愛を囁いてくれたのも…
- 17 思い返せば…初めて会った時もじゃ…♥
- 18
- 19 寂れた神社の…守番でしかなかった妾を…美しいと…
- 20 こんなに美しい女子に会った事はないと…
- 21 それはいたく感激しておったのじゃぞ…♥
- 22
- 23 妾の手を取り…ぎゅ〜〜〜と握って…一目で恋に落ちたと…
- 24 それはもう…言われている妾の方が恥ずかしい程の甘い言葉を…♥

- 1 恥ずかしげもなく浴びせてきてだな…♥
- 2
- 3 妾…その熱意に負けてしもうて…
- 4 つい…分かった…♥と返事をしてしもうたんじゃ…♥
- 5 そこで…お前様に名を聞かれた妾は…
- 6 名を持ち合わせておらんかったからの…♥
- 7
- 8 先程…申した通りお前様が…一穂と…名付けてくれたのじゃ…♥
- 9 どうじゃ…？少々昔話をしてみたが…
- 10 妾の事…思い出してきたかの…？♥
- 11
- 12 いや…直接お前様に…聞く事にするかの…♥
- 13 では…そろそろ愛しいお前様の頭の中から出でるとするかの…
- 14 それにな…二人ばかり愛してもろうて…するいのじゃ…♥
- 15
- 16 ほれ…二人とも…そろそろ頭の中をほじるのをやめて…
- 17 妾に魂を合わせ…身体を明け渡すのじゃ…
- 18
- 19 //音葉：
- 20 は〜い…♥
- 21
- 22 //鈴音：
- 23 は〜い…♥
- 24

1 //音葉：
2 ぶはあ…♥
3
4 //鈴音：
5 ぶはあ…♥
6
7 //一穂：
8 まあ…そもそもじゃな…こやつらは妾そのもの…
9 何故なら…妾の魂を二つに分けた存在なんじゃ…♥
10 じゃから…お前様が妾を思い出してくれたのならば…
11 こうして二人の手を合わせて…
12
13 ほれ…この様に妾もお前様の前に…出でる事が出来るのじゃ…♥
14 あの二人には…また後で会えるからの…♥
15
16 心配するでない…♥
17 大丈夫じゃ…お前様の気持ち…しかと分かっておるとも…♥
18 お前様にとっては…音葉も…鈴音も…妾と同じ様に大切じゃものな…♥
19
20 はあ…それにしても久方ぶりの再会じゃな…お前様…♥
21 早速で悪いのじゃが…お前様の温もりを…妾にも分けてくれ…♥
22
23 妾も…お前様が欲しい…♥欲しくて堪らんのじゃ…♥
24 な…？♥良いであろう…？♥なあ…？♥なあ…？♥

1 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
2 トラック6
3 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
4
5 //一穂：
6 では…お前様…♥
7 まずは…久方ぶりの再会を祝って…口吸いを…♥
8
9 ほれ…舌を出すのじゃ…♥
10 いつもしておったじゃろ…♥
11 ほれ…はよう…出すのじゃ…♥
12
13 //一穂：
14 んっ♥ちゅるるッ♥んぢゅッ♥ぢゅぞぞッ♥
15 ぢゅぱッ♥ちゅッ♥ちゅッ♥
16 れろれろッ♥ちゅ〜〜〜ッ…ぽんッ…♥
17 ぷはッ…♥んぢゅッ♥ちゅるるッ♥ぢゅぱッ♥
18
19 はッ♥お前様♥んぢゅるるッ♥ぢゅぞぞッ♥お前様♥
20 んぢゅッ♥ぢゅぱッ♥
21 会いたかった♥ぢゅぞぞッ♥ずっと会いたかったのじゃ♥
22 ちゅるるッ♥ちゅぱッ♥
23
24 ちゅるるッ♥ちゅぱッ♥ちゅるるッ♥ちゅるる〜ッ♥ちゅぱッ♥

- 1 お前様♥ちゅるるッ♥愛してるのじゃ♥
- 2 ちゅるるッ♥ちゅぱッ♥んちゅッ♥
- 3
- 4 ちゅ〜〜ッ…ちゅぽんッ…♥
- 5
- 6 //一穂：
- 7 ぷはッ…♥は〜ッ…♥は〜ッ…♥は〜ッ…♥
- 8 す、すまん…♥
- 9 少々夢中になってしもうたな…♥
- 10
- 11 あはは…妾としたことが…はしたない…♥
- 12 でもな…仕方がないじゃろお…♥
- 13 妾…とっても寂しかったのじゃ…♥
- 14 お前様の頭の中から…お前様が二人と愛し合っておるのを…♥
- 15 指を咥えて、眺める事しか出来んのじゃぞ…？♥
- 16
- 17 二人は確かに妾の魂そのものじゃが…
- 18 自我はそれぞれにあって…決して妾ではないのじゃ…♥
- 19 他のメスとの交尾を見せ付けられた妾の気持ち…
- 20 お前様なら…分かるじゃろ…？♥
- 21 じゃから…お預けを食らった分…沢山愛して欲しいのじゃ…♥
- 22
- 23 //一穂：
- 24 それに…そろそろ頃合いじゃろ…♥

1 あの二人にこっそり引っこ抜かれた子種汁を…♥
2 このぷっくりと実った玉袋の中に…
3 妾に馳走してくれる子種汁を…ごぽっ…ごぽごぽっ…っと…♥
4 今まさに作ってくれておるのじゃろ…?♥
5
6 ふい…♥妾には分かるぞ…♥
7 さぞ粘り気のある…オスくっさい子種を次から次へ…♥
8 ふい…♥想像しただけで…涎が…じゅるり…ごきゅ…♥
9 ふい…♥ダメじゃ…もう辛抱堪らん…♥
10
11 お前様…♥はよう…♥はよう食わせてくれなのじゃ…♥
12 良いじゃろ…?♥なっ…?♥なっ…?♥
13
14 //一穂：
15 おっ…♥ほお…♥これじゃこれ…♥
16 この…オスの匂いを…四方にまき散らすデカマラ…♥
17
18 んおッ…♥ほおッ…♥お〜〜〜ッ…♥ほお〜〜〜ッ…♥
19 竿の部分で…既にこの臭いなのじゃからあ…♥
20
21 この根元のところは…さぞ強い匂いで…くんくんッ…♥
22
23 ふいおゝッ…!♥おゝッ…♥おゝ〜〜〜ッ…♥ほおゝッ…♥
24 この…くんくんッ…♥匂い…堪らん…♥

1
2 ふすふすッ…♡ふ〜ッ…♡これじゃ…♡
3 妾が…ずっと欲しかったのは…♡くんくんッ…♡ふすふすッ…♡
4
5 ふ〜…♡くんくんッ…♡ぬお” ッ…♡ほお” ッ…♡
6 玉袋の裏のそこ…堪らん…♡んお” ッ…♡ふすふすッ…♡
7
8 くんくんッ…♡くんくんッ…♡よりオスの匂いが濃ゆくて…♡
9 ほお” ッ…♡お” ッ…♡ま、まずいッ…♡
10
11 お” ッ…♡お” 〜〜〜ッ…♡イ、イクッ…♡ほッ…♡イクッ…！♡
12
13 //一穂：
14 おふッ…♡ふ〜〜〜ッ…♡ふ〜〜〜ッ…♡
15 ほお〜〜〜ッ…♡ほおッ…♡ほお〜〜〜ッ…♡
16
17 す、すまん…♡うっかり…お前様の匂いを吸い込みすぎて…♡
18 軽く果ててしもうた…♡ふう〜〜〜ッ…♡ふう〜〜〜ッ…♡
19
20 これは…もうダメじゃ…♡直接…味を確かめねば…♡
21
22 //一穂：
23 あ〜…む…♡
24 んっ…♡んちゅッ…♡ぢゅるるッ…♡れろれろ…♡

1 ん〜…♡この味…♡ちゅるるッ…♡この味じゃ…♡んちゅるるッ…♡
2 愛しいお前様の味…♡ちゅるるッ…♡久方ぶりに味わえて…♡
3 ちゅるるッ…♡妾…嬉しいぞ…♡ちゅるるッ…♡
4
5 ちゅぞぞッ…♡れろれろ…♡ん〜…ここ味が濃い…♡
6 ちゅるるッ…♡ちゅぞぞッ…♡
7
8 やはりいつ味わっても…堪らん…♡ちゅぞぞッ…♡
9 れろれろ…♡んちゅッ…♡ちゅるるッ…♡れろれろ…♡んちゅッ…♡
10
11 今思えば…♡んちゅるるッ…♡
12 初めて…お前様のマラを見た時は…♡れろれろ…♡
13
14 この様なモノを口に入れるなど…♡ちゅるるッ…♡
15 想像出来ないと…思ってしもうたが…♡ちゅるるッ…♡れろれろ…♡
16
17 今では…全くの逆になってしもうた…♡ちゅるるッ…♡れろれろ…♡
18
19 今ではお前様に会えないと…♡お前様のマラがないと…
20 妾…♡寂しくて寂しくて…♡
21
22 ちゅるるッ…♡れろれろ…♡ちゅるるッ…♡
23 ちゅぞぞッ…♡ちゅるるッ…♡れろれろ…♡ちゅぞぞッ…♡
24

1 ぢゅぞぞッ…♥ちゅ〜〜〜ッ…ぽんッ…♥
2
3 //一穂：
4 今では…こうして…♥
5
6 お前様のマラに頬ずりを…♥
7 すりすり…すりすり…としてしまう程に…
8 お前様に心底惚れておるのじゃ…♥
9
10 あぁ…♥本当に愛おしい…♥これが欲しくて欲しくて…♥
11 毎晩…お前様を求めていたのが懐かしいのじゃ…♥
12
13 //一穂：
14 疲れて帰ってきたお前様を…心の中では…悪いと思っけていても…
15 ついつい布団に押し倒してしもうてな…♥
16 お前様はそんな妾にほんとに呆れておったが…♥
17 それでも優しく妾を抱いてくれたんじゃぞ…♥
18
19 それにな…お前様もそうじゃろ…♥
20 一時忘れていたとはいえ…妾を思い出した今なら…♥
21 寂しいと…妾が恋しかつたと…そう思っけておるじゃろ…？♥
22
23 いや…きつとその筈じゃあ…♥
24 やはり妾達は…いつまでも通じ合つたままじゃ…♥

1
2 //一穂：
3 それでは…お前様…そろそろ良いかの…？♥
4 もう妾のほとが…待ちきれんと…♥
5 はよう…お前様のマラを食わせて欲しいと…先程からうるさくてな…♥
6
7 腹の奥が…きゅ〜〜〜…っと疼いて堪らないのじゃ…♥
8 だから…もう挿れるからのお…♥
9
10 よいな…？♥なっ…♥
11 んっ…♥では…少し…身体を起こして…♥
12
13 //一穂：
14 よし…これで準備万端じゃな…♥
15 お前様は…またゆるりとくつろいでおれ…♥
16 妾に全て任せておくのじゃ…♥
17 それでは…挿れるぞ…♥
18
19 //一穂：
20 んっ…♥ふ〜〜〜ッ…♥ふ〜〜〜ッ…♥
21 久方ぶりのお前様のマラ…♥いただきま〜す…♥
22
23 //一穂：
24 んッ…♥んおッ…♥おッ…♥先っぽ…はいつて…♥

- 1 お" ツ…♥お" ~~~ツ…♥ほお" ~~~ツ…♥
- 2
- 3 相変わらず…♥お" ツ…♥長くて…♥
- 4 んお" ツ…♥まこと嬉しい" ツ…♥ぬお" ツ…♥お" ツ…♥
- 5
- 6 妾の蜜壺を…♥
- 7 ぐ~~~~ツ…っと…♥掻き分けて" ツ…♥おお" ツ…♥
- 8
- 9 ぬお" ツ…♥マラふっとお" ツ…♥
- 10 お" ツ…♥お" ~~~ツ…♥お" ツ…♥
- 11
- 12 お" ツ…♥奥…♥奥に…♥来るツ…♥
- 13 お" ツ…♥くるくるくる…♥ぬお" ツ…♥
- 14
- 15 お~~~~ツ…♥おほツ…♥んお" ~~~ツ…♥
- 16 ほおっ…♥ほおっ…♥ふ~~~~ツ…♥ふ~~~~ツ…♥
- 17 んお" ツ…♥お" ツ…♥奥にツ…♥
- 18 お" ツ…♥ごちんツ…♥ごちんって…なったツ…♥ほおっ…♥
- 19 久方ぶりのマラ…キくう…♥ふ~~~~ツ…♥ふ~~~~ツ…♥
- 20
- 21 ホントに…♥んお" ツ…♥ほツ…♥
- 22 これが欲しくてツ…♥欲しくてえ…♥お" ツ…♥おふツ…♥
- 23
- 24 ずっとずっと…恋しかったんじゃ…♥

1 おゝ ツ…♥おゝ ほッ…♥ほおゝ ツ…♥ふっ…♥ふっ…♥
2
3 おゝ ツ…♥気持ちツ…♥んおゝ ツ…♥
4 おゝ ……ツ…♥ほおゝ ……ツ…♥
5
6 ふ〜ツ…♥ふ〜ツ…♥お前様だってツ…♥
7 そうじゃろお…♥んおゝ ツ…♥おほッ…♥あの二人ではなくツ…♥
8
9 妾の蜜壺が…♥やはり一番じゃろお…♥
10 おゝ ツ…♥んおゝ ツ…♥ぬおゝ ツ…♥おゝ ツ…♥おんゝ ツ…♥
11
12 お前様のマラに…♥ねっとりと…絡みつく肉ヒダ…♥
13 おゝ ツ…♥柔らかくなったツ…♥奥の口がツ…♥
14
15 さっきから…お前様のマラと…♥激しい口吸いをしておる…♥
16 おゝ ツ…♥ぬおゝ ツ…♥おゝ ツ…♥おんゝ ツ…♥
17
18 蜜壺全体で…♥お前様のマラに媚びてるんじゃ…♥
19 おゝ ツ…♥ぬおゝ ツ…♥ほおゝ ツ…♥
20
21 少し挿れただけでツ…♥この様な有様になる…♥おゝ ツ…♥
22 それ程…妾の蜜壺にツ…♥ほおゝ ツ…♥
23
24 お前様のマラが…馴染んでるのじゃツ…♥

1 お" ツ…♥お" ほッ…♥お" ツ…♥んお" ツ…♥
2
3 それもこれも…♥お" ツ…♥お前様と何度も肌を重ねたからじゃ…♥
4 お" ツ…♥お前様のでないと…♥
5
6 妾は満足出来なくなるほど…♥お前様にツ…抱かれたんじゃツ…♥
7 お" ツ…♥んお" ツ…♥
8
9 覚えておらんのじゃろ…♥お" ツ…♥
10 記憶にないのじゃろお…♥ん" ツ…♥んお" ツ…♥
11
12 はあ…♥寂しい…♥寂しいのお…♥お" ツ…♥
13 でも良いのじゃ…♥お" ツ…♥お" ツ…♥
14 それでも…妾はお前様の事を…ずっと愛しておるし…♥
15 これからも…それは変わらん…♥
16 永遠に一緒じゃからな…♥
17 お" ツ…♥ふっ…♥ふお" ツ…♥はあ…♥はあ…♥
18
19 そうじゃ…♥永遠にじゃ…♥ふっ…♥ふう…♥
20 ん" ツ…♥んお" ツ…♥お" ツ…♥お" ツ…♥お" ツ…♥
21
22 //一穂：
23 そういえば…♥ふう～…♥
24 先程は…また帰るなどと…世迷言を申しておったな…♥

1
2 妾も…あの二人と申す事は一緒じゃ…♥
3 お前様の帰る場所は…他ならぬここじゃ…♥
4
5 ここ以外あり得ぬ…♥
6 何故なら…ここがお前様と…妾の最期の場所じゃからじゃ…♥
7
8 今決めたのではないぞ…♥
9 これは昔から…ず〜っと昔からの取り決めじゃ…♥
10 ここを…妾とお前様の最期の場所にすると…決めて…♥
11 お前様をここに繋ぎ止めておるんじゃ…♥
12
13 ふいッ…♥なぜ妾がそんな事をしておるか…知りたいか…？♥
14 良いぞ…♥教えてやる…♥
15 でも…今は…こっちじゃ…♥
16
17 //一穂：
18 今は…♥妾の蜜壺と…♥マラに集中するのじゃッ♥
19 お”ッ♥お”ッ♥おん”ッ♥おん”ッ♥
20
21 まずは気持ちよくなってから…♥お前様の頭の中お”ッ…♥
22 空っぽにしてからじゃ♥ふッ♥ふお”ッ♥
23
24 そうでないと♥またお前様は忘れてしまうじゃろ♥

1 お` ッ♥んお` ッ♥ふッ♥ふッ♥
2
3 妾との会話も♥こうして愛し合った事も♥また忘れてしまう♥
4 んお` ッ♥お` ~ッ♥
5 じゃからッ♥空っぽになった…頭の中に…♥
6 妾との思い出をしっかりと刻み付けてやるんじゃ♥お` ッ♥
7
8 次また目を覚ました時に♥すぐ妾を思い出せる様に♥
9 お` ッ♥ふお` ッ♥んお` ッ♥
10
11 深く…深く…刻み付けてやるのじゃ♥
12 お` ッ♥おん` ッ♥ぬお` ッ…♥お` ~ッ…♥
13
14 //一穂：
15 そうじゃ…♥お前様…♥アレをしてやろう…♥
16 お前様はな…妾に乗っかられている時に…乳首を舐められながら…♥
17 蜜壺を味わうのが…それはそれは大好きだったんじゃ…♥
18
19 妾は…しかと覚えておるぞ…♥んひッ…♥
20 ほれ…まずは右から舐めてやるのじゃ…♥
21
22 //一穂：
23 あむ…ッ♥ぢゅぞぞッ♥ぢゅるるッ♥
24 んぢゅッ♥れろれろッ♥んぢゅッ♥れろれろッ♥

- 1 妾に乳首を舐められるのが…♥ちゅるるッ♥
- 2 お前様は大好きで…♥んちゅぞぞッ♥
- 3
- 4 すぐマラをビクつかせて…
- 5 それはもう可愛い顔をしてくれるんじゃ♥
- 6
- 7 ちゅるるッ♥妾もそれが大好きで大好きで…♥
- 8 ちゅぞぞッ♥れろれろッ♥きゅ〜〜〜…ぽんッ…♥
- 9
- 10 あ…♥ほらな…♥その顔…♥
- 11 とろける様な…気持ちの良さそうなその顔…♥
- 12 やはり…愛らしい…♥
- 13
- 14 ふふ…もっと見せてくれ…♥お前様の可愛い顔を…♥
- 15
- 16 //一穂：
- 17 ほれ…次はこっちじゃぞ…♥あむ…♥ちゅるるッ♥
- 18 ちゅぞぞッ♥んちゅッ♥れろれろッ♥ちゅぱッ♥ちゅぞぞッ♥
- 19
- 20 れろれろッ♥ちゅぞぞッ♥んちゅッ♥
- 21 ちゅるるッ♥ちゅぞぞッ♥ちゅ〜〜〜ッ…ぽんッ…♥
- 22
- 23 //一穂：
- 24 あはッ…♥どうじゃ…お前様…♥

- 1 そろそろ…♥そろそろ…来たじゃろ…？♥
- 2 玉袋から…ぎとぎとに煮詰まった…ぶっ濃い子種汁が…♥
- 3 むりゅむりゅ〜〜〜…っと…♥こみ上げてきたじゃろ…？♥
- 4
- 5 妾…それが欲しいのじゃ…♥
- 6 粘っこい子種汁を…妾の一番奥に…びちゃびちゃっと…
- 7 小便の様に引っかけて…♥
- 8 お前様の子種汁で…妾の腹の中を満たして欲しいのじゃ…♥
- 9
- 10 ほれ…出せ…♥出してくれ…♥
- 11 妾の中に…♥たっぷりと…出してくれ…♥
- 12 ほれ…出せ…♥出せ…♥いっぱい欲しいのじゃ…♥
- 13 いっぱい…♥いっぱい…♥
- 14
- 15 出せ出せ出せ…♥イケイケイケッ…イケッ…！♥ほれ…
- 16
- 17 //一穗：
- 18 びゅ〜〜〜ッ…♥ふびゅ〜〜〜ッ…♥びゅるるる〜〜〜ッ…♥
- 19 ふぉッ…♥ぬぉッ…♥んぉッ…♥お”〜〜〜ッ…♥
- 20
- 21 妾の蜜壺の…至る所に…♥お”ッ…♥
- 22 お前様の子種汁が…へばりついておる…♥
- 23
- 24 お”ッ…♥特に一番奥…♥奥にべたッ！っと重たいのが…

1 張り付いてしまっておる…♥ぬお`ッ…♥
2
3 ふう…♥子宮が使い物にならなくなっても…構わぬと…ぬお`ッ…♥
4 これを一生腹に抱えておりたいと…思わせる重たい子種汁…♥
5
6 お`ッ…♥お` ~~~ッ…♥ふう~~~ッ…♥ふう~~~ッ…♥
7 やはり…堪らん`ッ…♥
8
9 お前様…カッコ良すぎなのじゃあ…♥ふへへ…♥
10 でも…お前様…♥まだ物足りんじゃろお…？まだ出来るじゃろお…？♥
11
12 妾もじゃ…♥
13 妾はまだまだ…妾はお前様が欲しいのじゃ…♥
14
15 だから…よいじゃろ…？♥
16
17 玉袋の中身がすっからかんになるまで…
18 絞っても…怒らないよな…？♥ふへへ…♥
19
20
21
22
23
24

1 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
2 トラック7
3 =*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==*==
4
5 //一穂：
6 ふふっ…♥久しぶりにお前様と愛し合えて…妾、大満足じゃ…♥
7 あっ、あいたたた…腰が…
8 たはは…お前様と会えるいつもこうじゃ…♥
9 お前様がまた眠りに落ちる程…勢い余って絞ってしまう…♥
10
11 またいつ会えるか分からぬから…
12 今のうちにと張り切ってしまうんじゃ…♥
13 許してくれ…♥なっ…？♥
14
15 さてと…お前様…♥
16 そろそろお疲れで眠いじゃろうし…
17 眠りに落ちる前に…先程の事…話して置かねばならんじゃろ…♥
18
19 ここはどこで…
20 なぜお前様がここから出れぬか…
21
22 眠ってしまえば、これも忘れてしまうのじゃが…
23 やはり知りたいじゃろ…？♥
24

- 1 そうじゃろ…そうじゃろ…♥
- 2
- 3 //一穂：
- 4 では…まずは少し昔話を…
- 5 お前様と出会ってから…あの神社の境内で…
- 6 お前様に見初められてから…
- 7 そこからはもう…速かったのお…♥
- 8
- 9 お前様の家に転がり込んで…一緒に生活する様になって…
- 10 流石に子供を作る事は出来なかったが…
- 11 妾達の間には…確かに強い愛で結ばれておったのじゃ…
- 12
- 13 //一穂：
- 14なのに…なのにじゃ…
- 15 共に暮らす内…妾は恐ろしくなっていたのじゃ…
- 16 強い愛で結ばれていても…
- 17 妾達二人の間に流れる時間は…必ず妾達を引き裂く…
- 18
- 19 病か…老いか…それは分からんが…
- 20 どうやっても…妾はお前様を見送る事になるじゃろう…
- 21 それを妾は許せんかった…
- 22
- 23 //一穂：
- 24 何者にも引き裂けぬと思っておったお前様との愛を…時間などという…

1 ありふれたものにこうも容易く…残酷に…無慈悲に引き裂かれるなど…
2 妾には耐えられなかった…
3
4 //一穂：
5 じゃから…お前様と永遠に暮らせる様にしたんじゃ…♥
6 お前様の魂を…術によって留め置き…ここに繋ぎ止める…♥
7 そうする事で…お前様は老いる事も…病に倒れる事もない…
8 完璧な存在になれる…♥
9
10 //一穂：
11 そう思ったのじゃが…
12 やはり時間というものは…手強いやつでな…
13 今度は留め置いたお前様の魂を…削り始めたんじゃ…
14 どんどんとすり減っていくお前様…
15 妾の名前が…すぐに出て来なくなったり…
16 さっきしたばかりの事を忘れたり…
17
18 拳句の果てには…お前様は眠りに落ちると…
19 妾の事を…ころっと忘れてしまう始末…
20
21 またお前様が…お前様ではなくなっていく…
22 上手くいったと思っておったこれも…またダメじゃと分かった…
23 だから…妾も決めたんじゃ…
24

- 1 //一穂：
- 2 最期は…妾と共に…等しく消え去る事じゃとな…♥
- 3 じゃから…妾は魂を二つに分けて…お前様のお側に置く事にした…♥
- 4 ただでさえ人とは…時の流れの違う妾でも…
- 5 一つの魂を二つに分けるなどという無茶をすれば…
- 6 お前様と同じように魂が削れていく…
- 7
- 8 まあ…少々誤算じゃったのが…
- 9 お前様が妾を忘れてしまうと…
- 10 お前様の前に出てゆく事が出来なくなるという事じゃったがな…♥
- 11
- 12 妾が会いたくても…お前様が思い出してくれないと…
- 13 出てゆく事が出来んのは…少々歯痒かったが…
- 14
- 15 まあこれはよいのじゃ…♥
- 16
- 17 お前様が忘れたのなら…先程の様に…
- 18 また思い出させてやれば良いからの…♥
- 19
- 20 愛しい狐の姿を…頭の中で思い起こせば…
- 21 いつでもお前様の目の前に…妾は出ずるからの…♥
- 22
- 23 そうして遂には…妾の事も忘れて…
- 24 お前様自身も己の事を忘れてしまえば…♥

1
2 それが妾達の美しい最期となるのじゃ…♥
3
4 //一穗：
5 何…その様に恐れる事はない…♥
6 消えゆく運命でも…妾達は最期まで…一緒じゃ…♥
7 一人で寂しく逝かせたりせん…♥
8 ずっとずっと側におる…♥
9 妾も…音葉も…鈴音も…みんなお前様の側に…♥
10
11 さあ…そろそろ時間じゃな…♥
12 また次…目が覚めたら…妾はまたお前様の記憶の奥底…♥
13 大方また音葉辺りが眠っているお前様に跨り…
14 腰を振っておるじゃろう…♥
15 あやつ…お前様の寝込みを襲うのが大好きでな…♥
16
17 まあ…許してやってくれ…♥
18 愛しているが故じゃからな…♥
19 これこれ…その様に怯えずとも…大丈夫じゃ…♥
20 お前様が何度妾を忘れようとも…妾はまた必ず会いに来るからの…♥
21
22 妾の愛しいお前様…♥
23 限りある命…その最期まで…妾がお供するからの…♥